

製品名: GNB2 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe01429**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.36mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 37 kDa; Observed MW: 32 kDa

抗原情報

遺伝子名	GNB2
別名	Gnb2; Gnb2l1; RACK1; Transducin beta chain 2
遺伝子 ID	2783
SwissProt ID	P62879
免疫原	ヒト GNB2 の合成ペプチド

背景

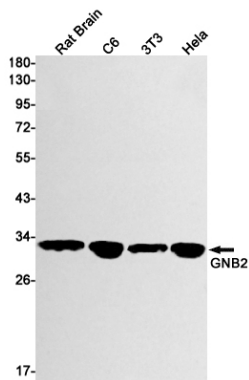
Guanine nucleotide binding protein (G protein) は、様々な膜貫通シグナル伝達系において、調節因子または伝達因子として

関与しています。β鎖とγ鎖は、GTPase活性、GDPからGTPへの置換、そしてGタンパク質とエフェクターの相互作用に必須です。

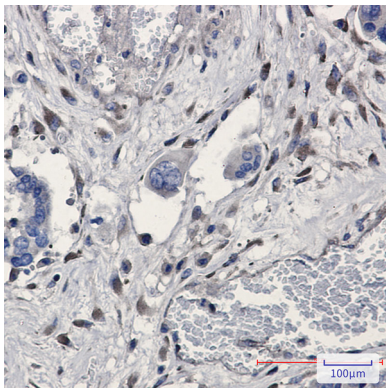
研究分野

シグナル伝達

画像データ



GNB2抗体を使用したラット脳、C6、3T3、Hela溶解物中のGNB2のウエスタンブロット分析。



GNB2抗体を使用したパラフィン包埋ヒト胆管癌の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。